



青春は終わらない。

本格的な高齢社会となるこれからは、高齢者の活力や笑顔が「まち」の活力や笑顔につながります。いつまでも生き生きと―これは、ご本人たちだけでなく、子ども世代、孫世代みんなの共通の願い。今月は、いくつになっても新しいことに元気に挑戦し続ける人たちに登場していただきます。

1

元気の源 踊ること

9月5日～8日、高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の祭典「ねんりんピック北海道・札幌2009」が開催されました。その初日、北海道立総合体育センター「きたえる」では、西区の老人クラブ「八軒クラブ」の女性メンバーがステージに立ち、歌謡舞踊「道南口説」、「風雪流れ旅」を披露しました。約半年前から準備を重ねて全員の息がピタリと合った美しい舞は、大勢の観客を引き付け、音楽が鳴り止むと同時に会場は喝采に包まれました。「練習どおりに踊れました」と胸を張るのは八軒在住の萩原きぬさん。「あっとい間このステージでした。まだ踊り足りないわ」と笑顔で

老人クラブとは？

地域を基礎とする高齢者の自主的な組織で、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うことを目的にしています。

現在、西区老人クラブ連合会（区老連）には36団体が加盟して活動しています。

老人クラブに入るには？

下記にお問い合わせください。自宅から近いクラブや、区老連に加盟している各クラブの活動内容も分かります。

問い合わせ先
 〓 西区役所保健福祉課
 〓 電話：641-2400(内線347)

タイトル背景写真
 西区ときわ大学
 第36期生
 小山 悟さん
 八軒クラブ
 萩原きぬさん
 駐輪場誘導整理員
 野田光男さん